

6) 県内の特徴的な動き(平成20年度)

(1) 「第1花国」の産子が全国枝肉共励会で2度目の名誉賞を獲得

全国三大枝肉共励会のうち平成20年度に東京食肉市場で開催された二大会の「全農肉牛枝肉共励会」と「全国肉用牛枝肉共励会」で、「第1花国」を父とする肥育牛が2度目の名誉賞(チャンピオン)を獲得した。

名誉賞受賞牛の概要

(1) 平成20年度全農肉牛枝肉共励会

- 開催時期：平成20年7月4日
- 開催場所：東京食肉市場
- 主催者：全国農業協同組合連合会
- 出品頭数：300頭

肥育牛出品者	血統	子牛の生産者	等級	脂肪交雑	枝肉重量	販売単価	販売金額
栃木県 須賀正次	父 第1花国 母の父 菊谷	十和田市 折田正勝	A-5	BMS 12	593 ^{kg}	円/kg 11,208 (2,158)	円 6,646,344 (1,104,383)

()は本共励会での黒毛和種去勢牛と雌牛の合計の平均値

(2) 平成20年度全国肉用牛枝肉共励会

- 開催時期：平成20年10月24日
- 開催場所：東京食肉市場
- 主催者：東京食肉市場協会他
- 出品頭数：430頭

肥育牛出品者	血統	子牛の生産者	等級	脂肪交雑	枝肉重量	販売単価	販売金額
五戸町 (旧倉石村) 沼沢邦夫	父 第1花国 母の父 安平	十和田市 小原久	A-5	BMS 12	612 ^{kg}	円/kg 13,027 (2,311)	円 7,972,524 (1,157,055)

()は本共励会での黒毛和種去勢牛と雌牛の合計の平均値

= 全国三大枝肉共励会()での第1花国産子の受賞歴 =

区分	年度	子牛生産者	肥育者	成績	販売価格
全農肉牛枝肉共励会	15	三沢市 高橋健仁	五戸町 沼沢邦夫	名誉賞 (1位/200頭)	380万円
全日本牛枝肉コンクール	17	東北町 小笠原吉助	北海道 肥育農家	名誉賞 (1位/155頭)	488万円
全国肉用牛枝肉共励会	18	三沢市 高橋健仁	茨城県 肥育農家	名誉賞 (1位/430頭)	733万円
全農肉牛枝肉共励会 (2回目の受賞)	20	十和田市 折田正勝	栃木県 肥育農家	名誉賞 (1位/300頭)	664万円
全国肉用牛枝肉共励会 (2回目の受賞)	20	十和田市 小原久	五戸町 沼沢邦夫	名誉賞 (1位/430頭)	797万円



平成20年度全国肉用牛枝肉共励会名誉賞の枝肉

(肥育者:五戸町 沼沢邦夫、生産者:十和田市 小原久)

全国三大枝肉共励会

「全農肉牛枝肉共励会」、「全日本牛枝肉コンクール」、「全国肉用牛枝肉共励会」の3つ。数ある枝肉共励会の中でも最大級の大会として位置づけられている。

(2) 有機を目指した日本短角種の牛肉生産（青い森の元気牛）

青森県七戸畜産農業協同組合が日本短角種を活用して、農薬や化学肥料を使用せずに生産した飼料給与と放牧で育てた「青い森の元気牛」は、平成17年12月から出荷が始まっている。都内有名百貨店で青森初冬の生鮮特集取扱品として3年連続して販売されるなど、冬季限定商品として高い評価が得られている。



広々とした放牧地



自給のトウモロコシ

(3) 特産地鶏「青森シャモロック」の生産拡大

青森県畜産試験場養鶏部で誕生した特産地鶏「青森シャモロック」（横斑シャモ×速羽性横斑プリマスロック）は、濃厚なダシや肉のきめ細かさにおいて評価が高く、宮内庁にも供給しているほか、生産農場の新規参入が建設業などの異業種からも相次いでおり、生産羽数が増加している。また、県内（八戸市）において専門の料理店がオープンするなど、販売ルートも拡大している。

「青森シャモロック」の生産状況

（単位：羽）

区分	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
生産羽数	13,000	16,000	24,000	30,000	48,000	73,000
うち宮内庁御料牧場へ	3,000	3,000	1,320	2,870	1,800	2,700

「青森シャモロック」の農場指定状況

地域	市 町 村	農場数
東 青	外ヶ浜町	1農場
中 南	弘前市、大鰐町、黒石市	5農場
三 八	五戸町、田子町、五戸町	4農場
上 北	十和田市、六戸町	8農場
西 北	五所川原市、つがる市	2農場
計		19農場

【指定農場】

「青森シャモロック」ブランド化推進協議会が指定

【指定条件】

- ・飼育管理マニュアルに沿った管理
- ・家畜伝染病の防疫に配慮した鶏舎での管理
- ・生産状況の飼育日誌への記帳と保管 等



青森シャモロック